



シロトリのねぐら調査



中藤5年

寺田 拓真

[1] 研究テーマ

ムクドリのおぐら調査

[2] 研究のきっかけ

夕方、スイミングの帰りに^{ととや}十十八の近くの電柱と電線にたくさんのムクドリがいた。しかし、暗くなるともう一度、その場所に行くと、ムクドリは1羽もいなくなっていたので、「ムクドリは夜はどこにいるのか」「何時に羽を動かすのか」を知りたくなると、この研究をすることにした。

(※十十八とは、福井市高柳3丁目にあるお店の名前)

ムクドリについて



絵: 寺田 拓真

ムクドリ

スズメ目ムクドリ科

全長24cmほど翼開長40cm。

くちばしはオレンジ色。

翼と胸、くちばしは茶褐色で

くちばしから頭にかけてとこの部分に白いところがある。

足はオレンジ色。

食べ物: 昆虫・果実。

分布: 東アジア(中国、モンゴル、ロシア東南部、朝鮮半島、日本)

日本国内のほぼ全域に分布する留鳥(一年中同じ場所にいる鳥)である。

[3] 研究の目的

目的①ムクドリのおぐらはどこにあり、どのようなかんじなのか。

目的②ムクドリは何時にどちらの方向からおぐら入りするのか。

目的③ムクドリは何時にどちらの方向のイサ場に飛んで羽を動かすのか。

[4] 研究の方法

- (1) 夕方十八の近くに集まっているムクドリが、何時にどこへ行くのかを観察する。
- (2) ねぐらの場所の植物の調査とフンの量の調査をする。
- (3) ねぐらの場所で、ねぐら入りの時間とねぐらを出る時間・方角を調査する。

<研究場所>

- ・十八の近く
- ・8号線の中央卸売市場近くの街路木對

[5] 研究の結果

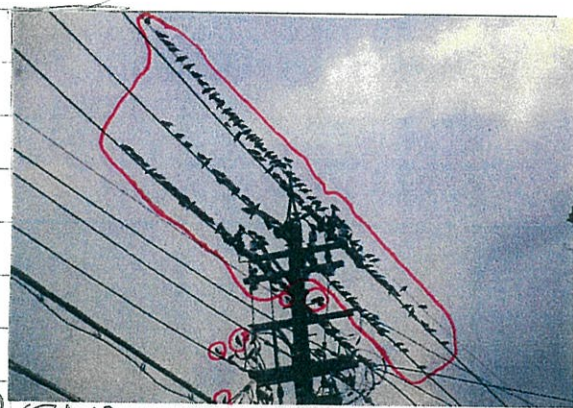
① ムクドリがねぐらの場所

夕方十八の周辺にいたムクドリは、南東方向に飛んでいった。(写真1、2)

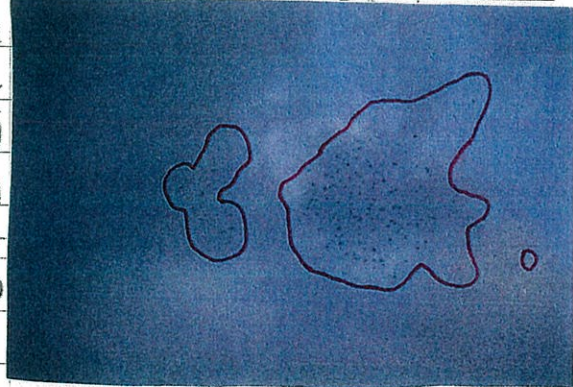
飛んで行った方向に追いかけていくと中央卸売市場の国道8号線沿いに飛んでいった。(図1)

大和田の交差点から、新保の交差点まで歩き、街路木對の下の方の調査をした結果、国道8号線・東側 LPA 馬主車場入口にある樹木 NO17 のケヤキの木から、リアトリブーム前にある樹木 NO82 のケヤキの木までの約 1.1 km のはとくに鳥のフンが落ちていたため、この場所をねぐらとしていたことが分かった。また、国道8号線西側のヤマダ電機前にある樹木 NO137 のケヤキの木から、リウム馬主車場前にある樹木 NO91 のケヤキの木までの約 1.0 km はとくに鳥のフンが落ちていたため、この場所もねぐらとしていたことが分かった。(写真3)

(表1-1、1-2、1-3、1-4、1-5、図2-1、2-2)



(写真1) 十八の周辺の電柱や電線に集まっているムクドリ

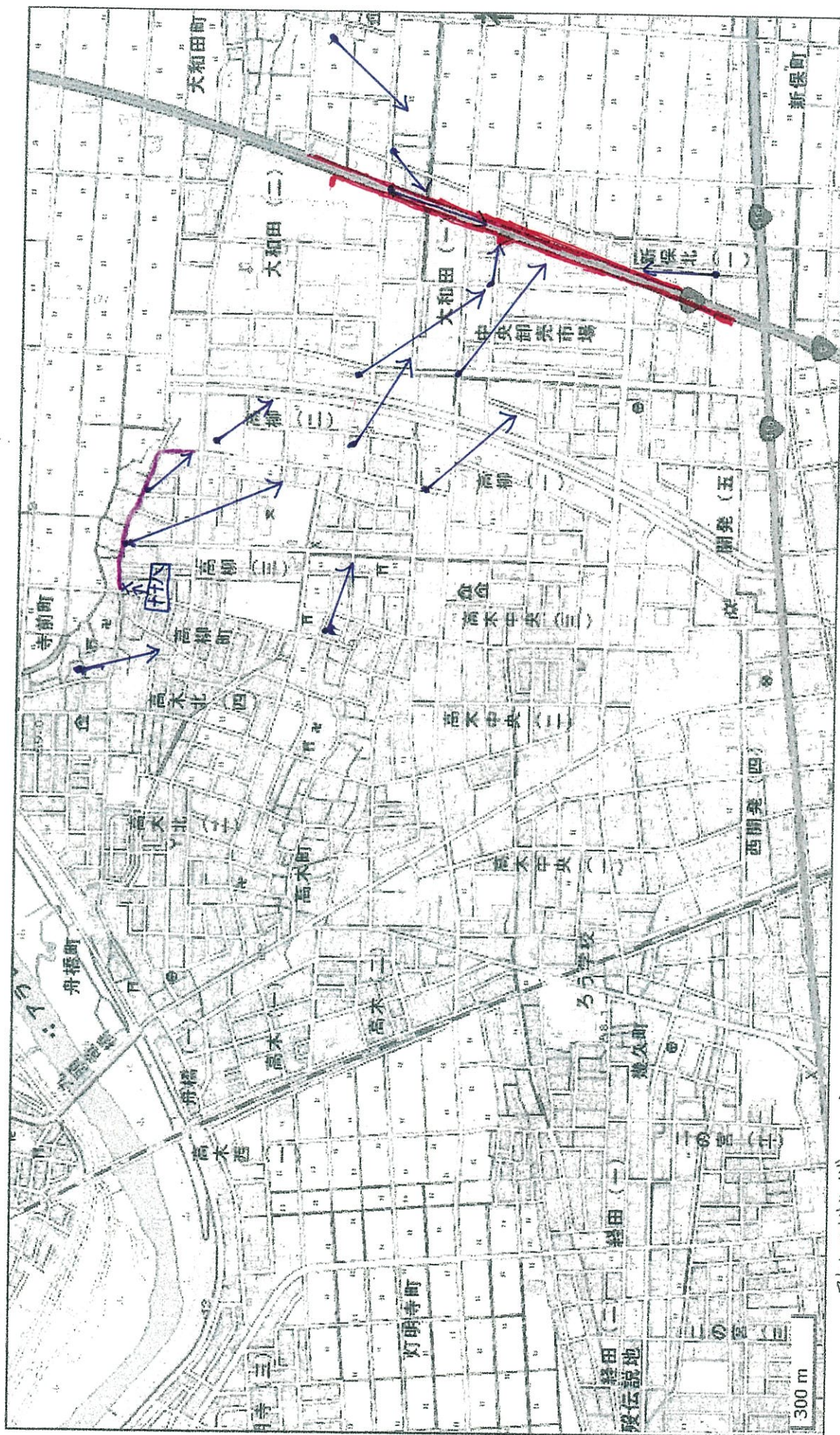


(写真2) ムクドリがむれて十八から南東方向へ飛んでいった



(写真3) ねぐらの下に落ちていたフン

GS Maps



「アラムワドリガ」
飛人でいた方向

防いともクドリが
集まっている場所

47110
6702

表 1-1 ムクドリがねぐらとして利用する樹林種とフンの量

樹林NO	樹 種	フンの量	樹林のあるおそ の位置	備考
1	ケヤキ	—	大和田交差点へステークの宮前	
2	ケヤキ	—	〃 (8号線西側)	
3	ケヤキ	—	〃	
4	ケヤキ	—	〃	
5	ケヤキ	—	〃	
7	ケヤキ	—	〃	
8	ケヤキ	—	フタバックスへLPA駐車場 入口	
9	ケヤキ	—	〃 (8号線西側)	
10	ケヤキ	—	〃	
11	ケヤキ	—	〃	
12	ケヤキ	—	〃	
13	ケヤキ	—	〃	
14	ケヤキ	—	〃	
15	ケヤキ	—	〃	
16	ケヤキ	—	〃	
17	ケヤキ	+	〃	
18	ケヤキ	+	LPA駐車場入口へ大和田南交	
19	ケヤキ	+	〃 差点 (8号線西側)	
20	ケヤキ	+	〃	
21	ケヤキ	+	〃	
22	ケヤキ	+	〃	
23	ケヤキ	+	〃	
24	ケヤキ	+	日野・日産自動車 前	
25	ケヤキ	+	〃 (8号線西側)	
26	ケヤキ	+	〃	
27	ケヤキ	+	〃	
28	ケヤキ	+	〃	
29	ケヤキ	+	〃	
30	ケヤキ	+	〃	
31	ケヤキ	+	中央市場 東交差点へ市場出入口	
32	ケヤキ	+	〃 (8号線西側)	
33	ケヤキ	+++	〃	樹高17~19m

(注) NO6 は欠番

表1-2 ムクドリがねぐらとして利用する木付種とフンの量

樹木NO	木付種	フンの量	樹木のあるおおよその位置	備考
34	ケヤキ	卅	中央市場 東交差点～市場出入口	樹高 17～19m
35	ケヤキ	卅	↓ (8号線西側)	〃
36	ケヤキ	卅	市場出入口 (8号線西側)	※お気に入りの木
37	ケヤキ	卅	市場出入口～オフハウス	樹高 17～19m
38	ケヤキ	卅	道路沿い (8号線西側)	〃
39	ケヤキ	卅	〃	〃
40	ケヤキ	卅	〃	〃
41	ケヤキ	卅	〃	〃
42	ケヤキ	卅	〃	〃
43	ケヤキ	卅	〃	〃
44	ケヤキ	卅	〃	〃
45	ケヤキ	卅	〃	〃
46	ケヤキ	卅	〃	〃
47	ケヤキ	卅	〃	〃
48	ケヤキ	卅	〃	〃
49	ケヤキ	卅	〃	〃
50	ケヤキ	卅	〃	〃
51	ケヤキ	卅	〃	〃
52	ケヤキ	卅	〃	〃
53	ケヤキ	卅	〃	〃
54	ケヤキ	卅	〃	〃
55	ケヤキ	卅	〃	〃
56	ケヤキ	卅	〃	〃
57	ケヤキ	卅	〃	〃
58	ケヤキ	卅	〃	〃
59	メタセコイヤ	卅	中央卸売市場建地内	樹高 22～24m
60	メタセコイヤ	卅	〃 (8号線西側)	〃
61	メタセコイヤ	卅	〃	〃
62	メタセコイヤ	卅	〃	〃
63	メタセコイヤ	卅	〃	〃
64	メタセコイヤ	卅	〃	〃
65	メタセコイヤ	卅	〃	〃
66	メタセコイヤ	卅	〃	〃

表1-3 4クドリがねぐらとして利用する樹種とフンの量

樹木NO	樹木種	フンの量	樹木のあるおおよその位置	備考
67	メタセコイヤ	冊	中央御苑市場敷地内	木高22~24m
68	メタセコイヤ	冊	〃 (8号線西側)	〃
69	メタセコイヤ	冊	〃	〃
70	メタセコイヤ	冊	〃	〃
71	メタセコイヤ	十	〃	せんでいしてある
72	メタセコイヤ	十	〃	〃
73	メタセコイヤ	十	〃	〃
74	メタセコイヤ	十	〃	〃
75	メタセコイヤ	十	〃	〃
76	メタセコイヤ	十	〃	〃
77	ケヤキ	冊	ハードオフ前(8号線西側)	
78	ケヤキ	十	リョーエンボム前(8号線西側)	
79	ケヤキ	十	ワトロブーム前(8号線西側)	
80	ケヤキ	十	〃	
81	ケヤキ	十	〃	
82	ケヤキ	十	〃	
83	ケヤキ	一	にぎりの使徒街前(8号線東側)	
84	ケヤキ	一	〃	
85	ケヤキ	一	〃	
86	ケヤキ	一	〃	
87	ケヤキ	一	〃	
88	ケヤキ	一	ワイホーム入口(8号線東側)	
89	ケヤキ	一	〃	
90	ケヤキ	一	〃	
91	ケヤキ	冊	ワイホーム馬主事場(8号線東側)	
92	ケヤキ	冊	〃	
93	ケヤキ	冊	〃	
94	ケヤキ	冊	〃	
95	ケヤキ	冊	〃	
96	ケヤキ	冊	〃	
97	ケヤキ	冊	ポルボロン前(8号線東側)	
98	ケヤキ	冊	キサンイン前(8号線東側)	
99	ケヤキ	冊	〃	

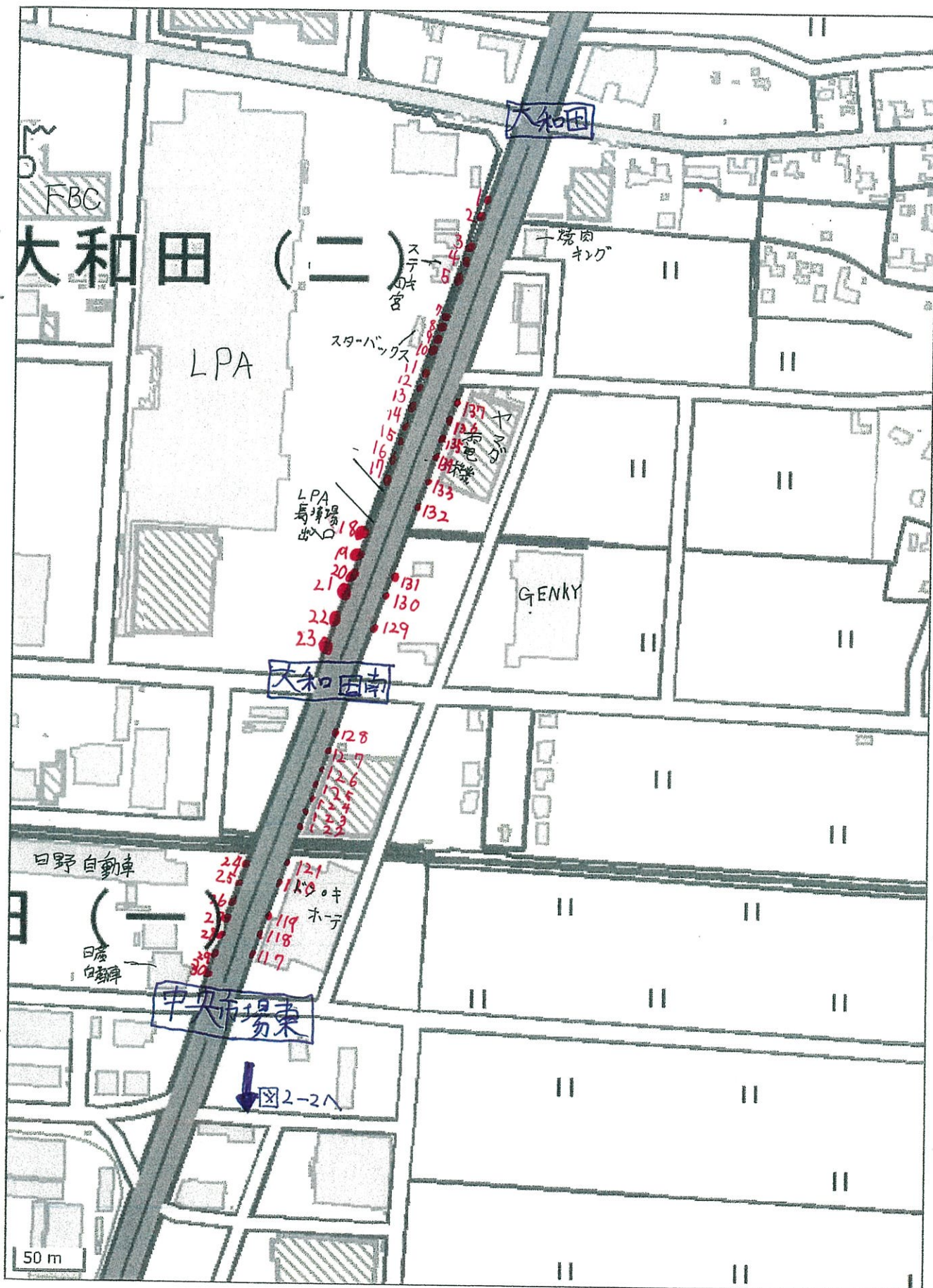
表1-4

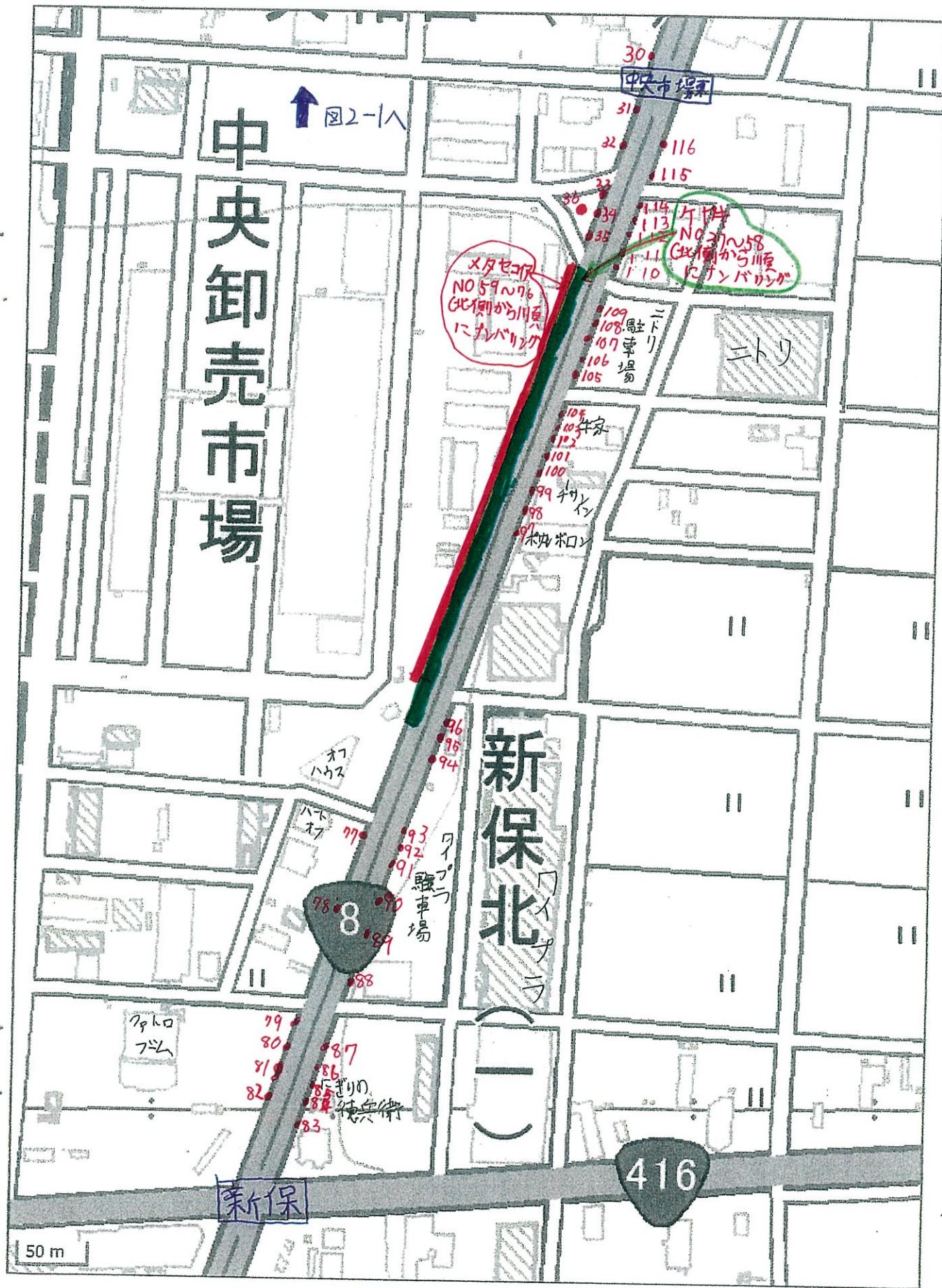
4 クドリがねぐらとして利用する樹種とフンの量

樹木NO	樹種	フンの量	樹木のあるおおよその位置	備考
100	ケヤキ	+	4サンイン前(8号線東側)	
101	ケヤキ	+	//	
102	ケヤキ	—	牛寅前(8号線東側)	かいている
103	ケヤキ	+	//	
104	ケヤキ	+	//	
105	ケヤキ	+	二トリ前(8号線東側)	
106	ケヤキ	+	//	
107	ケヤキ	+	//	
108	ケヤキ	+	//	
109	ケヤキ	+	//	
110	ケヤキ	+	AOKI・しゃぶ葉前(8号線東側)	
111	ケヤキ	+	//	
112	ケヤキ	+	//	
113	ケヤキ	+	//	
114	ケヤキ	+	//	
115	ケヤキ	+	//	
116	ケヤキ	+	//	
117	ケヤキ	—	ドンキホーテ前(8号線東側)	
118	ケヤキ	—	//	
119	ケヤキ	—	//	
120	ケヤキ	—	//	
121	ケヤキ	—	//	
122	ケヤキ	—	夢将軍前(8号線東側)	
123	ケヤキ	—	//	
124	ケヤキ	—	//	
125	ケヤキ	—	//	
126	ケヤキ	—	//	
127	ケヤキ	—	//	
128	ケヤキ	—	//	
129	ケヤキ	+	GENKY前(8号線東側)	
130	ケヤキ	+	//	
131	ケヤキ	+	//	
132	ケヤキ	+	ヤマダ電機前(8号線東側)	

表 1 - 5 ムクドリがねぐらとして利用する樹種とフンの量

樹木NO	樹種	フンの量	樹木のあるおおよその位置	備考
133	ケヤキ	++	ヤマダ電機前(8号線東側)	
134	ケヤキ	++	ク	
135	ケヤキ	++	//	
136	ケヤキ	++	//	
137	ケヤキ	++	//	





②ムクドリがねぐらの環境

ムクドリがねぐらとしている木の樹種を調べると、ケヤキとメタセコイヤである。

街路樹の下に落ちているフンの量を調べると、中央卸売市場のしき地内にある樹木NO9~70メタセコイヤと中央卸売市場前におる樹木NO33~58のケヤキで特に多くみられた。(写真4)

しかし、同じ中央卸売市場のしき地内にある樹木NO71~76のメタセコイヤは枝を短くせんていして

いたため、フンの量は少ししかなかった。(写真5)

また、同じケヤキでも、樹形が違っている場合は、枝の多い樹形の方を、好んでねぐらにしていることが分かった。(写真6)

このことから、ムクドリは枝が伸び、葉をたくさんつけた樹木を好んでねぐらにしていることが分かった。



(写真4) 中央卸売市場横のメタセコイヤとケヤキ並木



←(写真5)

枝を短く
せんていされた
メタセコイヤ

せんていされていないケヤキ。
ムクドリが人気。

せんていされているケヤキ



(写真6) 樹形が違うケヤキ

ケヤキはニレ科の落葉高木で、高さ20~25mの大木になり、街路樹としてもよく利用される木である。(写真6,7)



(写真7) 中央卸売市場横のケヤキ →

メタセコイヤはヒノキ科の落葉高木で高は25～30mの大木になる。以前は化石として発見されるのみで、絶滅した植物と考えられていたが、1946年に中国で現存していることがわかった。(写真5.8)



(写真8)中央卸売市場 横のメタセコイヤ →

③ムクドリがねぐら入りする時間とねぐらに入ってくる方向

8月14日ニトリ馬主車場から、中央卸売市場の木葉子を見周査

18:35 ねぐら入リスタート

18:42 多くのムクドリの群羊がやってくる (写真9)

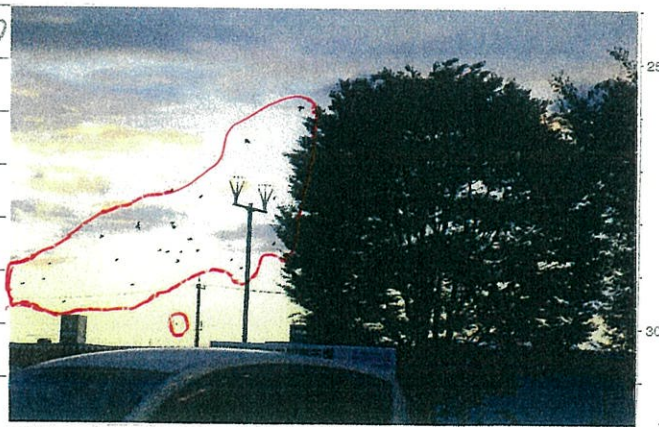
※先にスズメがいたが、ムクドリが来るとスズメがおり、出される。

18:52 ねぐら入りするムクドリがなくなる。

18:55 ねぐら入り終了

8月13日16日+十八周辺でムクドリを窺見察していくと18:25～19:00にムクドリがねぐらの方へ向かって飛んでいるのを初めて見た。

これらのことから、8月中旬は、およそ18:30～19:00の時間にねぐら入りすることが分かった。



ねぐらに入ってくる方向は、北西方向から飛んでき、くるムクドリや、北方面から国道8号線の真上を低空で飛んでき、くるムクドリの群羊がいた。また、北東方向から飛んできてくるムクドリの群羊もかくにんできた。(図1)

(写真9)ねぐら入りするムクドリ

④ ムクドリがねぐらを出る時間と飛んでいく方向

■ 7月22日 ワイホーム前のケヤキ(N0.9495,96)を中心に観察

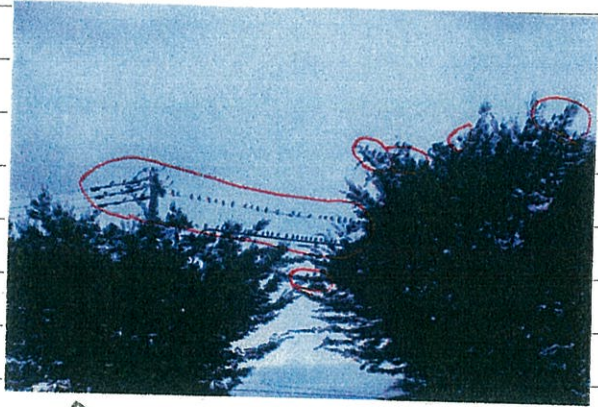
4:40 明るくなるとともに鳴き声が大きくなってきた(日の出 4:54)

4:55 ケヤキの枝先の部分や電線に飛び乗る(写真10,11)

5:05 最初の群が出發

次々と群が出發

5:16 ほぼすべての群が出發



↑ (写真10) ケヤキの枝先部分にいたムクドリ ↑ (写真11) 電線に飛び乗るムクドリ

■ 8月15日 ニトリ馬主車場から中央卸売市場周辺の様子を調査

5:05 明るくなるとともに鳴き声が大きくなってきた。(日の出 5:13)

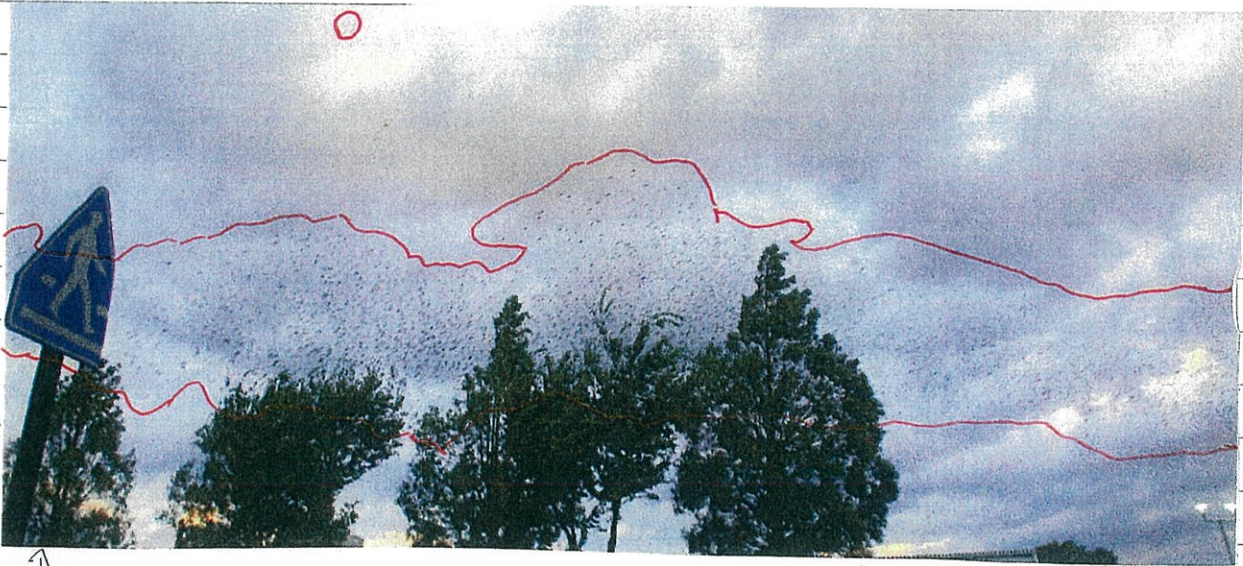
5:10 木と木を移動したり見はらしのよい所に出てくる(写真12)

5:25 ほぼすべての群が一気に飛びたつ(写真13,14)



(写真13) ムクドリがいっせいに飛び立つ様子

↑ (写真12) 見はらしのよい所に出てくるムクドリ



↑
(写真14)ムクドリが、いっせいに飛び立つ様子

■ 8月17日 ニトリ馬主車場周辺の様子を調査

5:28 最初の群が飛び立つ

(日の出 5:15)

5:30 群がまとまって飛び立つ

ねぐらから出てくる方向は、中央卸売市場周辺にいる群は北北東から北西方向に飛んでいくのが多くにんできた。

ワイホーム馬主車場前のねぐらからは北西方向や南西方向、南南東方向へ飛んでいく群を多くにんできた。(図3)。

(6) 研究から分かったこと

目的① ムクドリのねぐらはどこにあり、どのようなかんきょうなのか。

ムクドリのねぐらは、国道8号糸泉の大和田交差点から新保交差点の間のケヤキとタセコイの樹木をねぐらとしていることが分かった。

また、木の種類ではなく枝のたくさんでている樹形の木を好むことが分かった。

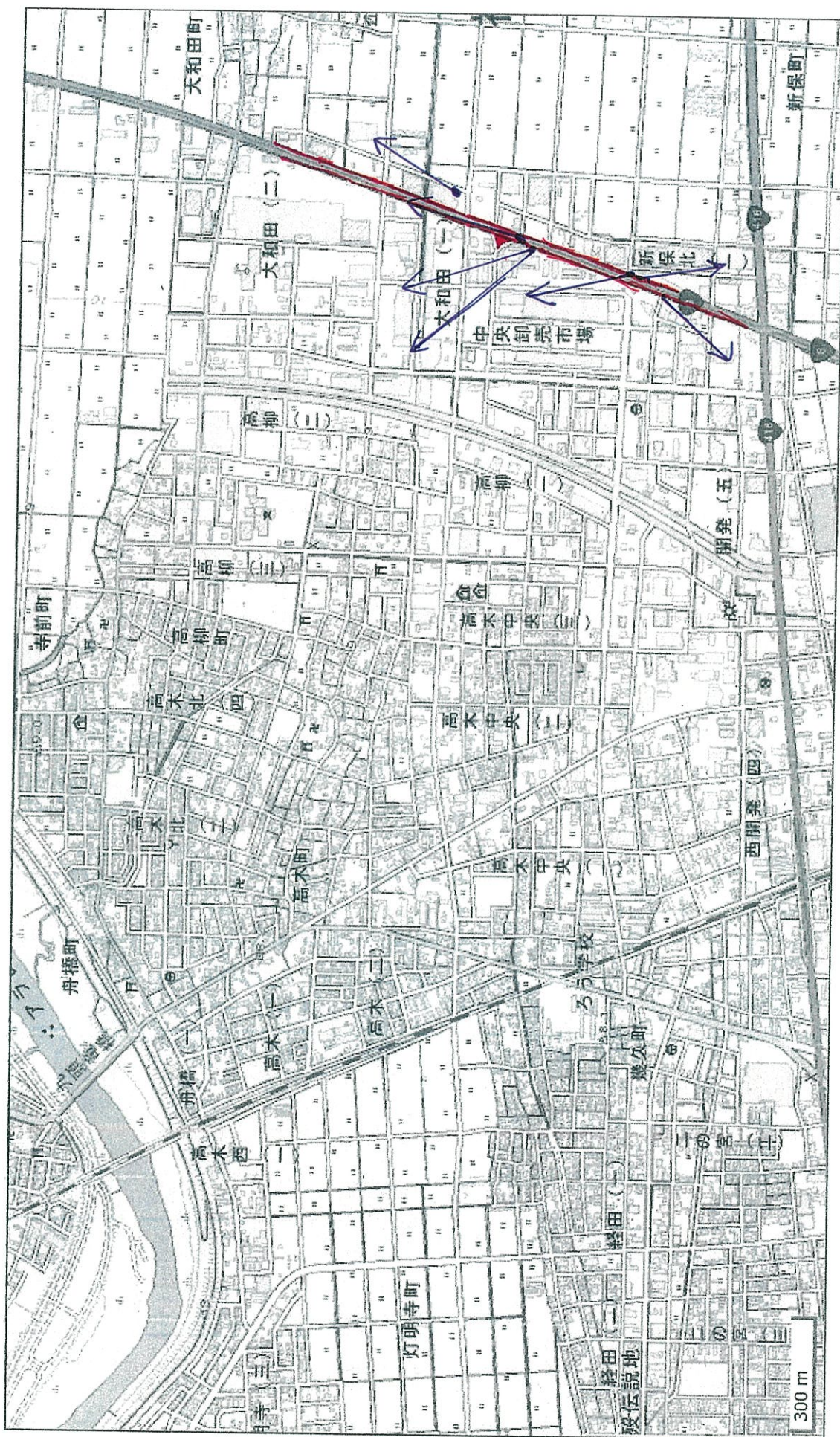
目的② ムクドリは何時にどちらの方向からねぐら入りするのか。

8月中旬のムクドリのねぐら入りの時間帯はおおよそ

18:30~19:00の間だった。おもに北西、北北東方向から飛んでくることが分かった。

地理院地図

GS: Maps



ムクド110
ねじら

→ 朝・ムクドリが飛んでいった方向

目的③ ムクドリは何時にどちらの方向のエサ場に向かって木の重さするの。

7月22日は5:05~5:16に、8月中旬は

5:25~5:30にエサ場に飛び立つことがわかった。

北北東、北西、南西、南南東方向へ飛んでいくことが分かった。

〔7〕これから調べたいこと

- ・ムクドリがどのくらいからこのねぐらに集まってくるのか。
- ・一本の木に幾つ何羽のムクドリがいるのか。また、一本の木の下にフンが一週間どのくらいおちるのか。
- ・季節により、日の出と日の入りの時刻が変化するので、ねぐら入りとねぐらから出る時間がどのようになるのかを調べてみたい。
- ・ムクドリがねぐらに利用していた、ケヤキとメタセコイアは落葉樹で冬になったら葉はが落ちるので、冬の間、ムクドリのねぐらがどうなるのか興味がある。

〔8〕感想

ムクドリがねぐらからい、せいに飛んでいった時に天の川みたいでした。いきなりいきいきに飛んだので、とりはだかたちました。はじめは、軽い気持ちでスタートしたが、いろいろなことが分かってうれしかったです。この研究でムクドリのことがよく分かりました。これからもムクドリの研究を続けたいです。

〔9〕参考にした本・サイト

- ・フィールドガイド 日本の野鳥 高野 伸二 著
- ・小学館の図鑑NEO けと鳥 柚木 修 執筆
- ・Wikipedia ケヤキ・メタセコイア



ムクドリのお羽
←

ムクドリのお羽
2019.8/12
福岡中央卸売市場
(福岡市太和田)



メタセコイア
←

メタセコイア
2019.8/12
福岡中央卸売市場厚側
(福岡市太和田)

※ ケヤキはフンガ
はいおたので標
本は作っていません